



小児の風邪

水分補給をしっかりと

「かぜ」は、くしゃみ、鼻水、咳、痰や熱が出る、のどや鼻などの気道(空気の通り道)の感染で、主にウイルスの感染で起こります。基本的には自然に回復するのですが、かぜがきっかけになり、二次的に細菌感染を合併して気管支炎、肺炎、中耳炎などに至ることもあります。

に飛び散って感染が広がるので、マスクを使用するなどして周りへの感染を予防しましょう。

かぜのウイルスに対して直接作用する抗ウイルス薬はほとんどなく、治療は、痰を出やすくしたり、鼻水や咳を鎮めたりする対症療法が中心で、自らの抵抗力による回復の手助けをすることになります。その抵抗力、体力を落とさないためにはゆとり休んで睡眠をとり、しっかりと食事をとることが大切です。

かぜは自然に回復する傾向が強いのですが、時には他の重い病気と区別しにくい場合があります。息が苦しい(ぜいぜいする。息がはやい。オットセイの鳴き声のような咳をする)、熱が長引く、ぐったりして元気がない、乳児期早期の発熱、水分が取れないなどの症状がある時には、早めの受診が必要です。

ことに、小児は大人に比べ脱水に陥りやすいため、水分補給が重要になります。予防には、うがいや手洗いなどが有効です。また、インフルエンザやかぜのウイルスは咳やくしゃみが周

豊能地区では夜間休日の対応を「豊能広域子ども急病センター」で行っています。また、夜間休日の受診を迷った時には「こどもの救急」ホームページなどを参考にしてください。

「こどもの救急」ホームページ
www.kodomo-qq.jp/